

各 位

上場会社名 初穂商事株式会社
 代表者 代表取締役社長 斎藤 悟
 (コード番号 7425)
 問合せ先責任者 経理部長 森 隆司
 (TEL 052-222-1066)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,320	250	300	150	18.30
今回修正予想(B)	15,659	280	335	199	24.33
増減額(B-A)	339	30	35	49	
増減率(%)	2.2	12.4	11.8	33.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	14,630	235	285	87	10.72

修正の理由

建設業界におきましては、震災の影響で先送りされた建材需要が本格化し、商業施設や病院、介護施設向けの非住宅設備投資需要が底堅く推移しました。一方で、職工不足の表面化や受注競争の激化など採算面で厳しい状況が続いています。

このような経営環境の中、当社は仙台出張所を開設し、東北エリアへの販売網の確立を目指すとともに、広島及び新潟にデリバリーセンターを設立し、既存営業所を拠点に周辺地域への販売エリアの拡大を推進してまいりました。このようなことから、当社の主力販売商品の軽量鋼製下地材・不燃材の売上高は順調に推移しました。また、近年の環境問題への関心の高まりから太陽光発電システムの需要が伸び環境関連の売上が増加しました。

この結果、当事業年度の売上高は、156億59百万円(前回発表予想比3億39百万円増)となる見込みであります。利益面につきましては、売上高の増加により、営業利益2億80百万円(前回発表予想比30百万円増)、経常利益3億35百万円(前回発表予想比35百万円増)、当期純利益は1億99百万円(前回発表予想比49百万円増)となる見込みであります。

以上